

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
1	上武佐ハリストス正教会 開教70周年史	第一部 歴史を振り返って (1)上武佐以前の教会の分布		宗教法人 上武佐ハリストス正教会	1986.08	中標津町図書館	根室の教会の管轄に北方領土が入ることの記述	地域史
		第二部 思い出 (2)色丹教会	ジノン石井徳雄				色丹にあった教会の概要	地域史
2	五十路のなかしべつ	忘れられない、あの日、あの時「北方領土の日」とビザなし渡航		中標津町	1995.07	中標津町図書館	北方領土ビザなし渡航について	地域史
3	ふるさとなかしべつ 不惑の四十歳	初の現職総理大臣の北方領土視察特集		総合企画	1987.11	中標津町図書館	鈴木総理(当時)の北方領土視察について	地域史
4	上標津開基八十年記念誌	戦後復興への道 ～農村の民主化・復興の模索～		上標津開基八十年記念誌編集委員会	2009.12	中標津町図書館	引揚者に入植をすすめた旨の記述	地域史
5	私の百年 窯焚き時代	窯焚き時代 後編 - 5ページめ		安部時夫	2009所蔵登録	中標津町図書館	飛行場建設のため引揚者等を町に呼び込んだ旨の記述	地域史
6	まっぶる ねむろ地域 北方領土学習・体験型学習			内閣府 北方対策本部	2013.03	中標津町図書館	根室管内の北方領土関連施設などを紹介	地域史
7	西武地区開基五十周年 若竹小学校開校三十周年記念誌 風雪に耐えて	強い絆に結ばれて 現住者プロフィール	前田肇	西武地区開基50周年若竹小学校開校30周年記念事業協賛会	1989.06	中標津町図書館	配偶者の出身が北方領土であることを数行記述	地域史
8	平成20年度 実践のあゆみ 21号	平成20年度北方四島ビザなし交流報告	中野俊光	北海道中標津農業高等学校	2009所蔵登録	中標津町図書館	教員1名、生徒2名でのビザなし交流の様子	地域史
9	新聞報道各紙に見る中標津農業高校生徒の諸活動実践記録集平成20年度	北方四島ビザなし交流参加	中野俊光 太田龍史 後藤田准	北海道中標津農業高等学校教育振興会	2009.03	中標津町図書館	教員1名、生徒2名でのビザなし交流の様子	地域史
10	中標津小学校開校五十周年記念誌	懐かしい河西特別教授場時代	住友あきら	開校五十周年記念実行協賛会	1969.01	中標津町図書館	「飯田さんという先生が千島のエトロフから赴任されました。」の記述	地域史
11	らんぶ3号	豊岡の歩み 8/9～10北方領土研修会		豊岡小学校	1977.03	中標津町図書館	根室開催の研修会に参加した旨の記述数行	地域史
		卒業生を送るーよびかけー 思い出					卒業式の「よびかけ」全文掲載 北方領土研修会に言及	地域史
		北方領土 第3回根室管内児童研修会					研修会の日程等	地域史
		根室の夜	武田登志子				第3回根室管内児童研修会の感想文	地域史
12	中標津町史	第一章 蝦夷地と松前藩		中標津町	1981.06	中標津町図書館	千島のアイヌ、和人、ロシア人の交易や布教について記述	地域史
		第一章 蝦夷地と松前藩 第二節 藩の成立と蝦夷地の支配 アイヌの和人殺害事件					寛政元年のアイヌの和人殺害事件について記述	地域史
		第二章 ロシアの進出と幕府					北方領土へ進出するロシアについて記述	地域史
		第三章 蝦夷地の支配と場所の人々 第二節 幕府の再直轄					北方領土等が幕府の再直轄になる経緯記述	地域史
		第二章 陸・海軍飛行場の建設 第二節 終戦直後の混乱 北方地域からの引揚者					昭和35年時点で中標津に住む北方領土からの引揚者名簿	地域史

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
13	中標津町五十年史	第一章 蝦夷地と松前藩		中標津町	1995.07	中標津町図書館	千島のアイヌ、和人、ロシア人の交易や布教について記述(『中標津町史』とほぼ同内容)	地域史
		第一章 蝦夷地と松前藩 第二節 藩の成立と蝦夷地の支配 アイヌの和人殺害事件					寛政元年のアイヌの和人殺害事件について記述(『中標津町史』とほぼ同内容)	地域史
		第二章 ロシアの進出と幕府					北方領土へ進出するロシアについて記述(『中標津町史』とほぼ同内容)	地域史
		第三章 蝦夷地の支配と場所の人々 第二節 幕府の再直轄					北方領土等が幕府の再直轄になる経緯記述(『中標津町史』とほぼ同内容)	地域史
		第四章 行政機能の充実 第一節 町づくりの拠点 鈴木首相の北方領土視察					1981年の鈴木首相(当時)の北方領土視察について記述	地域史
		第六章 平成の幕開け 第三節 内陸中核都市への歩み 北方四島へのビザなし渡航					北方四島へのビザなし渡航の経緯、平成六年までのビザなし渡航参加者(中標津町民)記載	地域史
		第七章 二十一世紀へのスタート 第一節 新出町政のスタート 北方四島との交流事業					北方四島との交流について記述	地域史
		第四章 宗教 第四節 教会などの創設 ハリストス正教会					平成四年に北方領土在住ロシア人が来教した旨の記述	地域史
14	文集 せせらぎ 創刊号	地の果て ―知床峠―	土田良吉	自分史を学ぶ友の会	2007.04	中標津町図書館	対岸に浮かぶ国後島を眺めながら知床峠に向かう随筆	地域史
15	文集 せせらぎ 第三号	俺の生い立ち	加藤公貞	自分史を学ぶ友の会	2009.03	中標津町図書館	千島に住んでいた旨の記述	地域史
		さらば戦友	土田良吉			中標津町図書館	太平洋戦争中、北千島に向かう爆撃機の墜落事故の真相記録	地域史
16	文集 せせらぎ 第五号	森繁久弥さん逝く	土田良吉	自分史を学ぶ友の会	2011.03	中標津町図書館	昭和35年に古多糠付近で、国後島の監視所から探照燈の光があがったエピソード	地域史
17	アイヌモシリとロシア 前編			安部時夫	2013.03	中標津町図書館	全編にわたり北方領土の記述(アイヌ・ロシア関連)あり	地域史
18	アイヌモシリとロシア 後編			安部時夫	2013.03	中標津町図書館	全編にわたり北方領土の記述(アイヌ・ロシア関連)あり	地域史
19	酪農乃父 児玉由一先生遺稿集	遺稿その三十 「離島返還促進大会」に於ける挨拶		児玉由一先生遺稿集刊行会	1979.19	中標津町図書館	「離島返還促進大会」の挨拶原稿	地域史
20	首長十四年のあしあと	全国都道府県北方領土主管課長を迎えて		村田雄平	1985.02	中標津町図書館	鈴木総理(当時)および北方領土主管課長一向の来町について記述	地域史
		北方領土返還①～⑥					北方領土返還促進国連派遣使節団として渡米した際の様子	地域史
		大阪'83北方領土とねむろ展					「大阪'83北方領土とねむろ展」の様子	地域史
21	らんぶ	ノサップ岬		山崎武司	1990.01	中標津町図書館	北方領土をのぞむノサップ岬に住む小学生のエピソード	地域史
		沖縄返還なる					沖縄返還の文章の中で北方領土についてふれる	地域史
22	北方領土物語			吉井宣	1973.07	中標津町図書館	元中標津町職員による北方領土についての著書	地域史
23	故郷択捉島別飛を追われて五十年			品川姓一	1998.07	中標津町図書館	元択捉島住民による手記	地域史
24	七転八倒	北方領土返還運動		稲毛三郎	2009.04	中標津町図書館	著者が関わる北方領土返還運動について記述	地域史
25	中標津商工青年会 設立15年誌	北方領土問題中標津町青年会議の活動について	小野弘	中標津商工青年会	1974.1	中標津町図書館	青年会の活動について記述	地域史
		北方領土返還運動キャラバン隊					キャラバン隊活動報告	地域史

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
26	短歌・俳句集			房川喜峰	2007.06	中標津町図書館	短歌「島返れ 国後島に 虹の橋 開陽台から 渡って行きたし」	短歌
27	歌集 歳月	終戦 昭和二十年		大隅きの	1971所蔵登録	中標津町図書館	短歌「ソ連兵 上陸なせり 国後の 人ら漁船で 逃げ来し尾岱沼」ほか数首	短歌
		野付半島の四季					短歌「オホーツクの 不凍の海に そびえ立つ 眺望爺々嶽 現は外国」ほか数首	短歌
28	句集 えぞ富士 えぞにう叢書第二〇号			依田綾子	1990.03	中標津町図書館	句「霞む千島 呼べどこだまは 返らざる」	俳句
29	自伝句集 拳固に始まる昭和			長縄美秋	1991.03	中標津町図書館	句「ソビエトに訴え続け草枯れる」	俳句
							句「二度目なり国後見える丘に凍つ」	俳句
30	歌集 残余の生	海峡哀話		神代愛彦	2013.07	中標津町図書館	短歌「六十余年 「島を還へせ」と 叫べども 為政者は何を したと言ふのか」ほか数首	短歌
31	歌集 雪の顔き			長岡久子	1988.03	中標津町図書館	短歌「北方の 領土よ 返れと 祈念せる 銅像の建つ 知床の浜」他1首	短歌
32	句集 岳樺			築田晩秋水	1982.08	中標津町図書館	昭和初期に北方領土で教員だった著者の句集(北方領土を明記した句はないが、「故郷」「島」の単語はあり)	俳句
33	ねむろっ子 根室管内小・中学生詩集	7 自然とたたかう…		中標津ロータリークラブ 根室ロータリークラブ	1967.1	中標津町図書館	国後島についての詩が数編	詩
34	だけかんば 創立二十周年記念誌	中標津だけかんば俳句会 会員受賞句集		中標津だけかんば俳句会	2000.12	中標津町図書館	句「海霧去れば 領土はさらに 近くあり」ほか数首	俳句
		中標津だけかんば俳句会 平成十二年度 会員年間合同句集					句「領土墓地 夏草茂る 懐に」ほか数首	俳句
35	だけかんば1	知床の岬	品川姓一	だけかんば俳句会	1981	中標津町図書館	句「台風は 故郷の折戻に 向かい過ぐ」	俳句
36	だけかんば5	郷愁	長縄美秋	だけかんば俳句会	1986.01	中標津町図書館	句「国後見えて 初日を見ざる 農試坂」	俳句
		千島	品川姓一				句「呼べばとて 千島答えず 流水断つ」ほか数首	俳句
37	だけかんば6	樹氷林	北川ティ子	だけかんば俳句会	1987.05	中標津町図書館	句「すぐその 千島に真向ふ 鯉のぼり」	俳句
38	だけかんば8	一人占め	筒井ハマ	だけかんば俳句会	1989.01	中標津町図書館	句「国後の さざ波つづき 氷下魚釣る」	俳句
39	だけかんば9	虹の橋	梶原光子	だけかんば俳句会	1990.01	中標津町図書館	句「千島恋えば 一憂深む 冬の海」	俳句
40	だけかんば10	寒椿	品川姓一	だけかんば俳句会	1991.01	中標津町図書館	句「擇捉追われ ここに祖となる 墓洗い」	俳句
41	だけかんば11	死にたくはなし	中居美沙夫	だけかんば俳句会	1992.02	中標津町図書館	句「母の破船父の破船国後の海は真っ白」	俳句
		連翹	柳原あき				句「国後の影 浮かべ秋空 漣しなき」	俳句
		防人想う	築田晩秋水				句「古扉 破れ千島の 秋日和」	俳句
42	だけかんば12	日脚伸び	宮脇俊恵	だけかんば俳句会	1993.02	中標津町図書館	句「とつ国の 潮の香詰めて 娘は歸る」(ビザなし渡行に参加)	俳句
		夕茜	横川梨香				句「夏の千島 手でつかみたき 位置にあり」	俳句

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
43	だけかんば14	冬木立	林伸子	だけかんば俳句会	1995.03	中標津町図書館	句「島還れ 砂文字運ぶ 秋の波」	俳句
		白芍薬	柳原あき				句「島還れ 署名終へたる 夏岬」	俳句
44	だけかんば15	開陽台	北川テイ子	中標津だけかんば俳句会	1996.04	中標津町図書館	句「秋晴れて 国後望む 開陽台」	俳句
45	だけかんば16	春の雪	依田綾子	中標津だけかんば俳句会	1997.04	中標津町図書館	句「秋カモメ 還らぬ島へ 今日も飛ぶ」	俳句
46	だけかんば17	冬雲	澤井修	中標津だけかんば俳句会	1998.02	中標津町図書館	句「我が千島 虚しさだけが 冬めぐり」	俳句
		一日を大切に	澤井修				「私は国後島キナシリと云ふ所で生まれました。」の記述	地域史
47	だけかんば19	望郷	岩田昇月	中標津だけかんば俳句会	2000	中標津町図書館	句「ハマナスや 四島で静に 返還待つ」	俳句
		ロシア語看板	鈴木朝影				句「領土まで 懸け橋なるか 蓮水」	俳句
48	だけかんば21	湖底	渡辺百合子	中標津だけかんば俳句会	2002	中標津町図書館	句「四島は夏 国引きの神 鋒は折れ」	俳句
		ふるさと	岩田昇月				句「兄の名の 四島の墓標に 草茂る」ほか数首	俳句
		薫紅葉	依田綾子				句「沖遥か 還らぬ島も 初茜」	俳句
49	だけかんば22	風館	渡辺百合子	中標津だけかんば俳句会	2003	中標津町図書館	句「国後かけて 雲海染めし 夕茜」	俳句
		屠蘇の酔	依田綾子				句「郷愁や 還らぬ島の 春嵐」	俳句
50	だけかんば23	ふるさと	岩田昇月	中標津だけかんば俳句会	2004	中標津町図書館	句「島影を 背伸びしてみる 春の海」ほか数首	俳句
		風吹くままに	澤井修				句「初日の出 四島を包んで 顔を出す」	俳句
51	だけかんば24	冬支度	澤井修	中標津だけかんば俳句会	2005	中標津町図書館	句「流水が 四島をかこんで 語りかけ」	俳句
52	だけかんば25	故郷	岩田昇月	中標津だけかんば俳句会	2006.01	中標津町図書館	句「還らざる 故郷遠し 鳥雲に」ほか数首	俳句
		一日を大事に	澤井修				句「流水が 四島の便りを 乗せてくる」ほか数首	俳句
		落葉時雨	渡辺百合子				句「四島も秋 波荒きまま 半世紀」	俳句
53	だけかんば27	大波小波	澤井修	中標津だけかんば俳句会	2008.01	中標津町図書館	句「四島の 背に声かけて 初日の出」	俳句
		吟行路	助口宣子				句「白鳥の 遊ぶ流れに 島還へれ」ほか数首	俳句
		風尖る	渡辺百合子				句「ニン月や 還らぬ四島や 風尖る」	俳句

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
54	だけかんば28	躍動	岩田昇月	中標津だけかんば俳句会	2009	中標津町図書館	句「霧晴れて 故郷まで続く 春の海」ほか数首	俳句
		鼓動	助口宣子				句「四島帰れ 千二百人 歩む秋」	俳句
		「平成二十年度北方墓参に参加して」	岩田昇三				北方墓参の様子	地域史
55	だけかんば29	巨星落つ	岩田昇月	中標津だけかんば俳句会	2010.09	中標津町図書館	句「故郷の 校門夏草の 中にあり」ほか数首	俳句
		里の夢	助口宣子				句「祖父の四島 たぐり寄せたや 夏の海」	俳句
		望郷	澤井修				句「国後を 追われし夜の 秋の雨」ほか数首	俳句
		一人酒	依田綾子				句「還らない 島に慕情を 深む秋」	俳句
		旅路	岩田昇三				句「国後は 近くて遠く 春遅々と」ほか数首	俳句
		天地人	助口宣子				句「北方館 還らぬ四島は 海霧の中」	俳句
		浮雲	澤井修				句「国後の 背中を押して 初日の出」	俳句
56	だけかんば30	迎え火やわが故郷はいつ還る	岩田昇月	中標津だけかんば俳句会	2011	中標津町図書館	メドベージェフ大統領が国後島訪問したことに対し、北方領土出身者である著者の思い	俳句
		暑き夏	岩田昇月				句「還らざる 四島の上から 初日さす」	俳句
		初景色	助口宣子				句「天高く 四島よ還れと 人の波」	俳句
		昆布干し	澤井修				句「すぐそこに 見えて帰れぬ 四島寒し」	俳句
57	りんどう3	ミルク酒	林きん糸	りんどう俳句会	1987.11	中標津町図書館	句「国後を 近くにおきて 黄紅葉」	俳句
58	りんどう16	秋思	石川延子	りんどう俳句会	2000	中標津町図書館	句「みはるかす 国後島の 雪領かな」	俳句
59	歌集 たわらまっぶ6	開陽台	大隅きの女	中標津町たわらまっぶ同人会	1977	中標津町図書館	短歌「見はるかす 国後島は わが領土 呼び返へさむと 声は涸れたり」	短歌
60	歌集 たわらまっぶ7		大隅きの女	中標津町たわらまっぶ同人会	1979.09	中標津町図書館	短歌「杳き日の 憶ひ出恋ふる 国後の 爺々の頂上 遙か瞳」	短歌
		氷原	井口精一				短歌「国後か 内陸か定めがたき程 かすか飛行機の 爆音起こる」	短歌
		子等	飛沢寿美枝				短歌「国後までつづきて見ゆる 氷原の 野付の湾は 今ねむりをり」	短歌

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
61	歌集 たわらまっぶ8	ウトロの旅	土肥たき	中標津町たわらまっぶ同人会	1981.01	中標津町図書館	短歌「藍深き 海にくっきり 指呼されて 国後全島 黒く横たう」	短歌
		雑詠	中曽根幸子				短歌「北方領土 復帰を願ふ わが夫は 同胞と始めて アメリカに発ちぬ」	短歌
		紺碧の空	干場正喜				短歌「島よ還れ 悲願をこめて 上げる風 岬の大空 童のほほ赤く」ほか数首	短歌
		遍路	矢吹弘照				短歌「嵐すぎ 青深みたる 海峡に 国後は今日 ま近く見ゆる」	短歌
62	歌集 たわらまっぶ11	四季「たわらまっぶ」	大隅律子	中標津町たわらまっぶ同人会	1987.03	中標津町図書館	短歌「久方に 墓参ゆるされ 島民の 涙に暮るる 一握の砂」	短歌
63	朴の木の花	五十五年目のクラス会		吉澤シマ	2003.07	中標津町図書館	「昭和初期の根室は千島を控えて景気が良かったが、」の記述	地域史
		俳句と私					句「向日葵は 国後島へ 対峙せり」とその解説	俳句
64	思い出のまゝに	ソ連軍の国後島侵入当時の思い出		村清八郎	1999.01	中標津町図書館	国後島泊村にいた著者の体験談(ソ連軍の占拠～国後島からの脱出)	地域史
		国後島での思い出					国後島での生活の様子	地域史
		私の経歴					国後島で暮を覚えた思い出	地域史
		痛ましい教員の死を偲ぶ					国後島にいた頃に吹雪で亡くなった教員について	地域史
		死人の番					国後島で起きた海難事故について	地域史
		乗馬の体験					国後島での移動手段について	地域史
		千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部の総会に出席して					総会に出席して思うこと	地域史
65	雲流るゝ国後			村田吾一	1970.09	中標津町図書館	元国後島民(後の羅臼村長)が書いた、国後在住時の思い出(本の後半は羅臼のこと)	地域史
66	道東学序説	「単冠湾から真珠湾へ」日米開戦前夜の50年秘話		菅原真一	2006.08	中標津町図書館	太平洋戦争開戦直前に択捉島の単冠湾に艦隊が終結したことについて	地域史
67	中標津文芸2	観光白鳥	栗野けい子	中標津文芸編集委員会	1986.03	中標津町図書館	短歌「寒風に 北方領土 返還の テープの唄と 白鳥の声」ほか数首	地域史
		四季のうた	熊沢幸子				短歌「久々に 空ひろごりて ノサップの 海峡に見ゆ 貝殻島は」ほか数首	地域史
68	中標津文芸3	原野(第五編) 志発島のころ	築田晚秋水	中標津文芸編集委員会	1987.03	中標津町図書館	歯舞群島の志発島に教員として赴任したエピソード	地域史
		コスモス	柵樹千代美				句「香ゆらぐ 北方墓参の 故郷古る」	俳句
69	中標津文芸4	じゃがいも	白野新	中標津文芸編集委員会	1988.03	中標津町図書館	戦争後、著者が根室に住んでいたときに起きた、元島民とのエピソード	地域史
		郷の柿	木村スミ子				句「秋北方領土引き寄せ望遠鏡」	地域史
70	中標津文芸5	分村当時	村清八郎	中標津文芸編集委員会	1989.03	中標津町図書館	著者が国後島から引き揚げた直後の、中標津での仕事(公務員)について	地域史
71	中標津文芸7	樺太のころ	加藤公貞	中標津文芸編集委員会	1991.09	中標津町図書館	著者が択捉島で暮らしていたころの、熊に出会ったエピソード	地域史

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
72	中標津文芸8	大熊にめった打ちにあった少年	加藤公貞	中標津文芸編集委員会	1992.11	中標津町図書館	著者が択捉島でくらししていたころの、知人が熊に襲われたエピソード	地域史
		国後島での生活	村清八郎				戦時中の国後島での生活の様子	地域史
73	中標津文芸10	花火	二瓶照子	中標津文芸編集委員会	1995.03	中標津町図書館	句「開陽台 佇てば国後 朧なり」	俳句
		冬から春へ	井口精一				短歌「クナシリの 山並白きが 目に入れど たちまちにして 道下るなり」	短歌
		死人の番	村清八郎				国後島で起きた海難事故について(『思い出のまゝに』にも掲載)	地域史
74	中標津文芸11	私の基歴	村清八郎	中標津文芸編集委員会	1996.09	中標津町図書館	国後島で基を覚えた思い出(『思い出のまゝに』にも掲載)	地域史
75	中標津文芸13	母の愛	佐々木豊三	中標津文芸編集委員会	1998.03	中標津町図書館	短歌「カモメ鳴く ノサップ岬 霧とざし まぶたに浮ぶ 国後の島」	短歌
		夏から秋へ	安永芳高				句「香港は還る戻らぬ北の島」	俳句
76	中標津文芸15	神の瞳	柳原あき	中標津文芸編集委員会	2000.02	中標津町図書館	短歌「峠路は漸く霧晴れ国後を背にカメラのシャッター互ひに押し合ふ」	短歌
77	中標津文芸16	郷土の名所	安永芳高	中標津文芸編集委員会	2001.01	中標津町図書館	短歌「開陽台 展望塔より 眺むれば 地球は丸く 国後も見ゆ」ほか数首	短歌
78	中標津文芸17	海霧	渡辺百合子	中標津文芸編集委員会	2002.01	中標津町図書館	句「四島は夏 国引きの神 銚は折れ」ほか数首	俳句
		国後島泊とセセキ温泉	加藤公貞				昭和12年頃の国後島での思い出	地域史
79	中標津文芸19	知床峠	柳原あき	中標津文芸編集委員会	2003.12	中標津町図書館	短歌「還らざる 島に向ひて 言葉なし 薄むらさきに 影落とす島よ」	短歌
		沢枯榎	下川原久美子				句「句碑を背に 国後島や 春かすみ」	句
80	中標津文芸20	海霧	竹内ヒナ子	中標津文芸編集委員会	2004.12	中標津町図書館	短歌「知床路 海霧濃き 国後島の みえがくれ」	短歌
		アテネ	中村幸吉				短歌「観光客 あれが国後島 指を指す お国を問えば 沖縄の人」	短歌
81	中標津文芸21	『第一回 北方領土まで歩こう会』に参加して	澤田正人	中標津文芸編集委員会	2005.12	中標津町図書館	『第一回北方領土まで歩こう会』の様子、感想	地域史
		晩学	中村幸吉				短歌「終戦の 玉音聞きて 六十年 旧島民の 戦後はいまだ」ほか数首	地域史
		一五〇年の歴史、六〇年の想い 北方領土二〇〇五 夏	吉澤紘				北方領土問題の経緯と、著者の思い	地域史
		夏炉	白岩玲子				句「知床より 国後島へ 虹立ちぬ」	俳句
82	中標津文芸22	糸糸編む	中上キヨ	中標津文芸編集委員会	2006.12	中標津町図書館	句「流水に 包まれ海峡に 四島浮けり」	俳句
		峠	大隅七郎				尾岱沼に「北方四島返還叫びの像」が建立されたこと、そこから返還運動が高まったことの記述	地域史
83	中標津文芸23	雑詠	大隅七郎	中標津文芸編集委員会	2007.12	中標津町図書館	短歌「別れぎわ 愛馬は涙 流せしと エトロフ島の 引揚者言う」	短歌
84	中標津文芸24	手掘り漁	成山雪吉	中標津文芸編集委員会	2008.12	中標津町図書館	短歌「夕べより貝殻島に灯り点き淡き光の色よみがへる」	短歌
85	中標津文芸25	あの日	澤井修	中標津文芸編集委員会	2009.12	中標津町図書館	ソ連軍が進行してきた様子を書いた詩	地域史

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
88	中標津文芸26	伝成館・語り部談義より	土田良吉	中標津文芸編集委員会	2010.12	中標津町図書館	リンドバーグ機が北方領土上空から根室湾に着水したことについて、思い出話をきっかけに調査を進める	地域史
		潮焼けの顔	成山雪吉				短歌「海峡の 空に字尻を 揚げる子等 四島手繰るがに 糸を巻きみる」	短歌
89	中標津文芸27	北千島転戦記	百崎重夫	中標津文芸編集委員会	2011.12	中標津町図書館	昭和19年、北千島防衛の任務に就く著者の体験記	地域史
		華の樹水林	伊藤春子				句「年新た 引きよせたきは 四島なり」	俳句
90	中標津文芸28	初めてのビザなし訪問	郷岳	中標津文芸編集委員会	2012.12	中標津町図書館	元島民二世の著者が参加したビザなし訪問の様子	地域史
		北千島転戦記	百崎重夫				昭和19年、北千島防衛の任務に就く著者の体験記(前号の続き)	地域史
91	中標津文芸29	天地へ弾む	石黒石雄	中標津文芸編集委員会	2013.12	中標津町図書館	句「流水が 国後連れて くるごとし」	俳句
		北千島転戦記	百崎重夫				昭和19年、北千島防衛の任務に就く著者の体験記(前号の続き)	地域史
92	中標津文芸30	平和を願う	石黒石雄	中標津文芸編集委員会	2014.12	中標津町図書館	短歌「わが国と いへど向いの 北の島 返らぬままの 妻のふる里」	短歌
		日常の歌	田中尚枝				短歌「漁船並ぶ ラウスの海の向こうには 還らぬクナシリ 指呼の間に間に」	短歌
		四季の天地	石黒石雄				句「薫風が 国後里へ 引くごとし」	俳句
		「ビザなし交流に参加して」北方四島の 一つ色丹島を訪ねる	鈴木勝春				2014年のビザなし交流のスケジュールと内容、感想	地域史
		ふる里の海	石黒石雄				国後を眺めながら思いをはせる詩	詩
93	中標津文芸31	“戦後70年”に思う	山崎進也	中標津文芸編集委員会	2015.12	中標津町図書館	ソ連軍の進行についてと、祖母が国後出身であることについての記述あり	地域史
		収容所	坪谷捷介				短歌「喚声を あげて叱られし 国後の夜を たどれば根室 炎上が見ゆ」ほか数首	短歌
		喜寿の花道	石黒石雄				短歌「戦後史も 七十年の 節目なり 北方四島 なお動かせず」	短歌
		平和の世を願う	石黒石雄				句「春風が 吹けど動かぬ 北の島」	俳句
94	北のふるさと7	回想(その1)	築田晩秋水	グループ北のふるさと	1982.02	中標津町図書館	戦前、著者が教員として択捉に赴任した時の思い出	俳句
95	北のふるさと10		川上美沙	グループ北のふるさと	1984.11	中標津町図書館	句「国後も 船も終日 時雨けり」	地域史
96	年輪6		森本熊太	中標津町老人クラブ連合会	1974.07	中標津町図書館	短歌「ノサップに立てば眼下に展かれる国後エトロフなつかしの島」	短歌
97	年輪7	ラウス十一首	伊藤精一	中標津町老人クラブ連合会	1974.09	中標津町図書館	短歌「望郷の島黒々とつらなりて十六夜の月波に煌らめく」	短歌
98	年輪8	千島の思い出(一)	斉藤善吉	中標津町老人クラブ連合会	1974.11	中標津町図書館	昭和十年当時の択捉島シベトロでの思い出	地域史
99	年輪9	千島の思い出(二)	斉藤善吉	中標津町老人クラブ連合会	1975.01	中標津町図書館	昭和十年当時の択捉島シベトロでの思い出(前号の続き)	地域史
100	年輪10	千島の思い出(三)	斉藤善吉	中標津町老人クラブ連合会	1975.03	中標津町図書館	昭和十年当時の択捉島シベトロでの思い出(前号の続き)	地域史

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
101	年輪12	千島はいつ還るか	西村武重	中標津町老人クラブ連合会	1976.01	中標津町図書館	北方領土問題について、自身の択捉島滞在を踏まえながら記述	地域史
		羅臼町見学旅行	西老人クラブ				羅臼町見学旅行の活動報告(国後島についての感想あり)	地域史
102	年輪15	納沙布岬と車石 見学バス旅行	西老人クラブ	中標津町老人クラブ連合会	1976.10	中標津町図書館	根室に行き北方資料館で北方領土の説明を受けたこと等の活動報告	地域史
103	年輪16	納沙布岬と車石見学 バス旅行記	西老人クラブ	中標津町老人クラブ連合会	1977.01	中標津町図書館	前号の日程など詳細	地域史
		納沙布岬と花咲車石感想文 ノサップ岬に立ちて	西山知恵				上記旅行の感想文	地域史
		納沙布岬と花咲車石感想文 根室バス旅行	土谷ソヨ				上記旅行の感想文	地域史
		納沙布岬と花咲車石感想文 根室見学	田中花子				上記旅行の感想文	地域史
104	年輪19	国境納沙布岬視察並びに老人ホーム慰問について	中村自助	中標津町老人クラブ連合会	1977.10	中標津町図書館	望郷の家などの感想	地域史
		納沙布見学バス旅行記	小林ハツ				北方資料館などの感想	地域史
105	年輪28	北方領土・納沙布見学旅行	伊藤精一	中標津町老人クラブ連合会	1980.01	中標津町図書館	見学旅行の報告・感想	地域史
106	年輪33		大隅きの女	中標津町老人クラブ連合会	1981.04	中標津町図書館	短歌「呼び還す 北方領土の日 定まりて ノサップ岬に こだまは響く」	短歌
107	年輪36		小沢凡人	中標津町老人クラブ連合会	1982.01	中標津町図書館	句「島よ帰れと首相来て根室秋」ほか数首	俳句
108	年輪37		大隅キノ	中標津町老人クラブ連合会	1982.04	中標津町図書館	短歌「島帰れの挽歌を埋めて凍結の海に穴掘り氷下魚獲る漁師」	短歌
109	年輪38	北方領土返還要求根室地区住民大会に参加して	西山勇	中標津町老人クラブ連合会	1982.07	中標津町図書館	大会参加の報告・感想	地域史
110	年輪46	根室地方の名勝をたずねて	武田リエ	中標津町老人クラブ連合会	1984.07	中標津町図書館	北方資料館などを見学した感想	地域史
111	年輪51	見聞記 北方領土	天野市之助	中標津町老人クラブ連合会	1985.10	中標津町図書館	北方領土返還運動に参加した報告	地域史
		私のらくがき帖より	横内峯				句「国後を返せと白鳥鳴くのかも」	俳句
112	年輪53		森田千松	中標津町老人クラブ連合会	1986.04	中標津町図書館	句「潮騒いの納沙布岬に佇ち見れば国後島は指呼の間に」	俳句
113	年輪56		佐々木ミヨ	中標津町老人クラブ連合会	1987.01	中標津町図書館	短歌「雲もなく海なぎわたりはるかなる北方領土島かげ見ゆる」	短歌
114	年輪57	熊の生血の中に入れてめしを手づかみで	加藤公貞	中標津町老人クラブ連合会	1987.04	中標津町図書館	択捉島での食事のエピソード	地域史
							短歌「知床の岬に立ちてわが領土見ゆる国後山浮きて見ゆ」	短歌
115	年輪59		佐々木ミヨ	中標津町老人クラブ連合会	1987.10	中標津町図書館	短歌「ノサップの見渡す限り海原に北方領土は眼下に見ゆる」	短歌
116	年輪60		石田玉子	中標津町老人クラブ連合会	1988.01	中標津町図書館	句「知床やクナシリ島の見える丘」	俳句
117	年輪62		松本トキ	中標津町老人クラブ連合会	1988.07	中標津町図書館	句「北方の島よ帰る日いつの日か」	俳句
			佐々木豊三				短歌「北方の国後島は目に近く初冬の海鏡の如く静かなり」	短歌

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
118	年輪65	弁論大会に出席して	長谷部ツギ	中標津町老人クラブ連合会	1989.04	中標津町図書館	北方領土根室少年弁論大会に出席した感想	地域史
119	年輪66	北方領土の日	北山マキコ	中標津町老人クラブ連合会	1989.04	中標津町図書館	北方領土根室少年弁論大会に出席した感想	地域史
120	年輪67	エトロウ島観光	長谷部ツギ	中標津町老人クラブ連合会	1989.10	中標津町図書館	択捉島の暮らしを紹介	地域史
121	年輪70	セセキ温泉	加藤公貞	中標津町老人クラブ連合会	1990.07	中標津町図書館	昭和12年頃の国後島での思い出	地域史
122	年輪73	老人旅行と北方領土	稲毛三郎	中標津町老人クラブ連合会	1991.04	中標津町図書館	北方領土の国連管理または二カ国合併について	地域史
123	年輪73	時事川柳(北方領土返還)	稲毛三郎	中標津町老人クラブ連合会	1991.04	中標津町図書館	句「帰る島 うれしさの裏 不安感」ほか数首	俳句
124	年輪76	忘れられない人たち その一 恩師今中先生	加藤公貞	中標津町老人クラブ連合会	1992.01	中標津町図書館	昭和7年当時、択捉島に住んでいた人物について	地域史
125	年輪77		佐々木豊三	中標津町老人クラブ連合会	1992.04	中標津町図書館	短歌「知床の岬に立ちて吾領土見ゆる国後の山浮きて見ゆ」	短歌
126	年輪80		田子内ミサヲ	中標津町老人クラブ連合会	1993.01	中標津町図書館	短歌「開陽台 地平線の かなたには 国後霞む 我が領土あり」	短歌
127	年輪91	望郷の島択捉	品川姓一	中標津町老人クラブ連合会	1995.10	中標津町図書館	戦時中の択捉島での生活	地域史
128	年輪94		佐々木豊三	中標津町老人クラブ連合会	1996.07	中標津町図書館	句「北四島 望遠鏡では戻らない」	俳句
129	年輪101		佐々木豊三	中標津町老人クラブ連合会	1998.04	中標津町図書館	短歌「カモメ鳴く ノサップ岬 霧とざし まぶたに浮ぶ 国後の島」	短歌
130	年輪103	北千島転進記 ※図書館注…転戦記の誤りか?	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	1998.10	中標津町図書館	昭和19年、北千島防衛の任務に就く著者の体験記(「北千島転戦記の再編」)	地域史
131	年輪104	北千島転戦記	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	1999.01	中標津町図書館	前回の続き	地域史
132	年輪105	北千島転戦記	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	1999.04	中標津町図書館	前回の続き	地域史
		川柳 開陽台	房川喜延				句「雨上がり 国後島も 指呼の間」	俳句
133	年輪106	北千島転戦記	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	1999.07	中標津町図書館	前回の続き	地域史
134	年輪107	北千島転戦記	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	1999.10	中標津町図書館	前回の続き	地域史
135	年輪97	択捉島と、トドの山越え	品川姓一	中標津町老人クラブ連合会	1997.04	中標津町図書館	択捉島の思い出	地域史
136	年輪100	島の墓参りに行き故郷の昔を思い出して	品川姓一	中標津町老人クラブ連合会	1998.01	中標津町図書館	択捉島の思い出	地域史
137	年輪108		房川喜延	中標津町老人クラブ連合会	2000.01	中標津町図書館	短歌「秋時雨 国後島に 虹の橋 島よ帰れの 悲願を込めて」	短歌
138	年輪109	「北方領土の日」住民大会に参加して	稲毛三郎	中標津町老人クラブ連合会	2000.04	中標津町図書館	大会に参加して感じたこと	地域史
139	年輪112	大熊に襲われた少年	加藤公貞	中標津町老人クラブ連合会	2001.01	中標津町図書館	著者が択捉島でくらししていたころの、知人が熊に襲われたエピソード(中標津文芸8号「大熊に…」編集再録)	地域史
140	年輪123		中村幸吉	中標津町老人クラブ連合会	2003.10	中標津町図書館	短歌「島還せ願いを込めて署名簿に 国後眺め筆を運びぬ」	短歌
141	年輪124		中村幸吉	中標津町老人クラブ連合会	2004.01	中標津町図書館	句「今年もか初日顔出す四島異国」	俳句

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
142	年輪126	四島だよりを読んで	阿部俊一	中標津町老人クラブ連合会	2004.07	中標津町図書館	現在のロシア島民の暮らしの様子	地域史
			岩田昇三				句「国後の影引きよせて夏の潮」	俳句
143	年輪127	「昭和二万二千日…の記録より」	土田良吉	中標津町老人クラブ連合会	2004.10	中標津町図書館	北方領土へのソ連侵攻について	地域史
		島だより その二	阿部俊一				現在のロシア島民の暮らしの様子	地域史
		北方領土視察	阿部俊一				小泉首相(当時)の北方領土洋上視察について	地域史
			岩田昇三				句「ハマナスや四島で静か返還待つ」	俳句
144	年輪128	島だよりを読んで	阿部俊一	中標津町老人クラブ連合会	2005.01	中標津町図書館	現在のロシア島民の暮らしの様子	地域史
145	年輪130		中村幸吉	中標津町老人クラブ連合会	2005.07	中標津町図書館	句「弧を描く七彩跳む四島の上」	俳句
146	年輪131		中村幸吉	中標津町老人クラブ連合会	2005.10	中標津町図書館	句「四島かすむ戦後はいまだ地平線」	俳句
147	年輪132		澤井修	中標津町老人クラブ連合会	2006.01	中標津町図書館	句「六十年秋の国後遠く見え」	俳句
148	年輪133		澤井修	中標津町老人クラブ連合会	2006.04	中標津町図書館	句「国後も無言のまま冬迎え」ほか数首	俳句
149	年輪135		岩田昇月	中標津町老人クラブ連合会	2006.10	中標津町図書館	句「還らざる四島未だ海霧の中」	俳句
150	年輪137	四島の語り部①	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2007.04	中標津町図書館	戦前の択捉島の様子	地域史
			澤井修				句「四島の背に声かけて初日の出」	俳句
151	年輪138	四島の語り部 その二	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2007.07	中標津町図書館	戦前の択捉島の様子	地域史
152	年輪139	四島の語り部 その三	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2007.10	中標津町図書館	戦前の択捉島の様子	地域史
		鼓動シリーズ五 北方領土返還運動	稲毛三郎				太鼓演奏を通じての返還運動の様子	地域史
153	年輪140	四島の語り部 その四	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2008.01	中標津町図書館	戦前の択捉島の様子	地域史
154	年輪141	四島の語り部 その五	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2008.04	中標津町図書館	戦前の択捉島の様子	地域史
155	年輪142	四島の語り部 その六	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2008.07	中標津町図書館	北方領土問題の経緯	地域史
156	年輪143	四島の語り部 その六 ※図書館注…七か？	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2008.10	中標津町図書館	北方墓参に参加した感想	地域史
157	年輪144	四島の語り部 その八	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2009.01	中標津町図書館	戦前の択捉島の様子	地域史
158	年輪145	引き揚げ後函館での二年の生活	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2009.04	中標津町図書館	択捉島からの引き揚げの様子	地域史
			森田忠美				句「流水の彼方の四島よいつかえる」	俳句

「北方領土遺産発掘・継承事業」北方領土関連資料(図書・文献)

市町名:中標津町

No.	資料1	資料2	著者名	発行者名	発行年月日 (西暦)	所蔵先	内容等	分類
159	年輪146	択捉島から引き揚げた後の私の人生 一	岩田昇三	中標津町老人クラブ連合会	2009.07	中標津町図書館	北方領土問題についてと、択捉島から引き揚げた後の人生	地域史
		みんなの願い 北方領土	前野洋子				北方領土の日の大会について、参加した感想と報告	地域史
160	年輪147		澤井修	中標津町老人クラブ連合会	2009.10	中標津町図書館	句「国後に六十四年の夏巡り」	俳句
161	年輪149	2010「北方領土の日」根室管内住民大会に参加して	土田良吉	中標津町老人クラブ連合会	2010.04	中標津町図書館	大会に参加しての感想と報告	地域史
							句「猛吹雪四島よ返れの歎きかな」	俳句
162	年輪153	北方領土の日に思う	沢田ツル	中標津町老人クラブ連合会	2011.04	中標津町図書館	大会に参加しての感想と報告	地域史
			澤井修				中標津町老人クラブ連合会	句「流水が四島を囲んで語りかけ」
163	年輪156		森田忠美	中標津町老人クラブ連合会	2012.01	中標津町図書館	句「ヤンシユウ四島の夢見て鮭談義」	俳句
164	年輪160	北千島転戦記	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	2013.01	中標津町図書館	(再掲載)	地域史
			森田忠美				句「語部も老いて帰らぬ四島をみる」	俳句
165	年輪161	北千島転戦記 其の二	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	2013.04	中標津町図書館	(再掲載)	地域史
166	年輪163	北千島転戦記 其の三	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	2013.10	中標津町図書館	(再掲載)	地域史
		北千島転戦記 其の四	百崎重夫				中標津町老人クラブ連合会	(再掲載)
167	年輪164	北千島転戦記 其の五	百崎重夫	中標津町老人クラブ連合会	2014.01	中標津町図書館	(再掲載)	地域史